令和６年（２０２４年）　№４２５

１２月号　花とみどりの相談所ニュース

令和６年（２０２４年）１２月　１日発行

【　モミの木とクリスマス　】

左・モミの木と右・ドイツトウヒ

モミの木
マツ科　モミ属　常緑針葉樹
原産地　日本特産種　北端は秋田県、南端は屋久島
樹高　　30m 以上、幹径は 1.5m に達するものもある
花期　　５月、2～3 年に一度、開花結実
　　球果は 10～15cm 緑色から熟すると灰褐色になる

毎年この時期になると街中が華やぎ、軽やかなクリスマスソングの音色にワクワクしてきます。有名な NY のロックフェラーセンターのクリスマスツリーが話題に上るのもこの時期です。

そして多くのクリスマスツリーにはモミの木が使われています。なぜモミの木なのか、クリスマスの語源や由来は？そして飾り付けのものにもそれぞれ意味があるの？を調べてみました。

① クリスマスツリーはなぜモミの木？

モミの木は、北半球の寒冷地から温帯にかけて約 40 種が分布しています。日本でも秋田県から屋久島にかけて広い範囲で自生している常緑針葉樹です。元気に緑の葉を茂らせている常緑樹は「永遠の命の象徴」として特別な存在でした。また、中世のドイツではモミの木には小人が宿るとされており食べ物や花を飾ると小人が集まってきて人間に力を与えてくれると信じられていました。これら“常緑信仰”がクリスマスツリーのルーツだといわれています。しかし、北欧やイギリスにはモミ類は自生しておらず入手が容易なドイツトウヒが使われることが多いようです。ロックフェラーセンターもドイツトウヒを使用しています。

② 飾りつけの意味は？

ツリーのシンボルの星（名称：ベツレヘムの星）はキリスト誕生時に、賢者たちをベツレヘムへ導いた星を表しています。赤い実や玉はアダムとイブが食べてしまった知恵の実、リンゴを表しています。先がカールしたキャンディーは羊飼いが使う杖です。はぐれそうになった羊を引き戻すのに使われていたことから、人々の助け合いの心を表しています。

③ クリスマスの語源と由来

「クリスマス（Christmas）」の語源は「キリスト=Christ」＋「礼拝＝mas」。キリスト教の重要な行事ですが、ルーツは、古代ローマ帝国や、ゲルマン民族の冬至の祭りだといわれています。太陽信仰をしていた人々にとって、日照時間が短くなる秋から冬は“死が近づく時期”と恐れられていました。冬至を境に日照時間が長くなることは太陽神の復活を意味し、その時期に祭りが行われていたのが、後にキリスト教と融合、12 月 25 日がイエスの生誕祭とされたといわれてます。ツリーや飾り付ける物の意味や由来に思いをはせ・・・

今年は一味違ったクリスマス準備となるでしょう。

（文・写真　村尾廣子相談員）

12 月の花とみどりの講習会

【春を待ちわびる寄せ植え】

日時：１２月１４日（土）１０時～１２時
場所：花とみどりの相談所
講師：同所相談員　奥井　里実
定員：２４人　　費用：１，６００円
申込：１２月7日（土）９時１５分～ 電話可
内容：春の草花を使った寄せ植えづくり

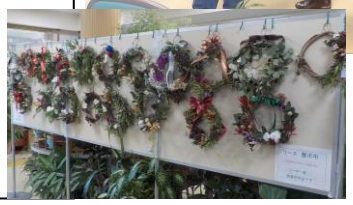
【お正月を祝う盆景を作ろう】

日時：１２月２１日（土）１０時～１２時
場所：花とみどりの相談所
講師：彌重　定さん（全日本小品盆栽協会副理事長）
定員：２４人　　費用：2,５００円
申込：１２月１４日（土）９時１５分～ 電話可
内容：松や季節の草花などを使った盆景づくり

写真はイメージです

リース展

花とみどりの相談所では、11 月１３日(水)から 12 月７日(土)まで「リース展」を開催しています。
日ごろから、当所を中心として、みどりのボランティア活動に取組まれている「豊中緑化リーダー会」の皆さんにより制作された作品を展示しています。
個性豊かな、色とりどりの作品を展示していますので、ぜひ一度お立ち寄りください。



※昨年の開催状況

花とみどりの相談

お気軽にどうぞ！

相談時間は、火曜日・木曜日の午後１時から４時３０分までです。
電話による相談も行っています。
《 １２月の休所日 》　毎週の日曜・月曜日です。
※年末年始（１２/２９～１/３）は、休所します

豊中市　花とみどりの相談所
〒561－0804　豊中市曽根南町１丁目４番１号（豊島公園内）　阪急宝塚線 曽根駅南 約500m
TEL 06-6863-8439（ハヨサク）　FAX 06-6863-3638